

“鮮度一番！”

No.210

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / 柳田国男『地名の研究』を読む 第7便
 1～2 / ひとことコラム
 2～3 / ヌエック参加報告
 3～4 / お知らせ 編集後記

柳田国男『地名の研究』を読む

「ママ」

第7便

ママと聞けば、お母さんを連想するかもしれませんが、歴とした地名用語です。『地名の研究』では、真間と題した一節が載ります。ママは、真間の他、俣、儘、壺、麻万、間々、壩などの漢字が当てられています。ママは、崖や崩崖の字も当てられるように、崖地、傾斜地の地名です。新潟方言でも使われ、ドテママの用例が残されています。ママは、『万葉集』に「足柄の麻万」や「葛飾の真間」と10首登場します。「葛飾の真間」は、現在の千葉縣市川市国府台（このだい）だと考えられています。柴又や矢切の渡しの南に位置し、川に面した高台の地です。往古はこの附近まで海が湾入していたようで、この地を舞台に、「真間の手児奈（ママノテコナ）」と呼ばれた美女が入水自殺した伝説が『万葉集』に詠われ、ゆかりの遺跡も残されています。三條市内には、下田地区落合の小字に俣ノ下（ママノシタ）があります。（杉野真司・H28.10.4）

・・・ひとことコラム・・・ 人はなぜ物を欲しがる？

Y. S

秋っていいですねえ。〇〇の秋とかいっぱいありますが、秋ってホントにイベントも多く、9月・10月は毎週のようなスケジュールが入っているし、報道等も多いと思うのは私だけでしょうか？先日、工場の祭典があったので、小学生と大人15人くらいで1日市内各事業所を見て回りました。現場に行くと、その仕事の多様さや工夫に感動や発見がいっぱいあり、来ていた人の多さとともに、その方たちの話から市外・県外の方の多いことに驚きました。また、様々な製品・商品が展示してあり欲しくなること。くうー、結局、キャンプ用品と木工品を買ってしまいました。秋は「物欲」も高まるなあなんて。

そこで「物欲」って何？と思い調べてみたら、「物欲とは物を得ることを目的とするものではなく、物が欲しいという気持ちが物を得ることによって充足されることで完結する。物体は媒介で、物によって欲求が充足されることが最も重要ということ。」というのがありました。この他にも、「様々

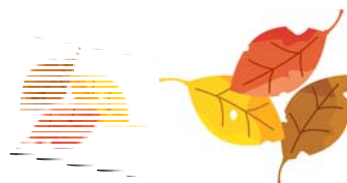
な欲求の中でも、物欲、性欲、食欲、睡眠欲の順に失われていく」というものもあり、なるほどそういうことか。物欲により満足感を得ることは生きることの1つの原動力であると、フムフム同感です。

私の代表的な物欲ジャンルは、文具、アウトドア用品、洋服類かな。今年買ったもので物欲を満たしている？ものが3つあります。1つ目はR社のハサミです。今までとは発想が違い、引いて切るハサミで簡単に切れデザインもいいです。2つめはN社のスニーカーです。緑色のスウェードを使ってあり、軽くて私の足にぴったりで履き心地もグッドです。最後は、ハサミがトレードマークのD社のジーンズです。前から欲しくて、胴長短足の私にもピッタリのデザインとフィット感です。まだ、1回しか履いていませんが…。

しかし、吟味して買ったものでも、満足感100%、あるいはそれ以上というものは中々なく、もっといいものはないかと、情報を探したり、店頭に出向いたりしていく。こうして限りない？私の物欲が継続されていくのですが、これが悪魔の物欲スパイラル…。

最近、断捨離とかミニマリストということをよく聞きますし、本等も多く出ていますが、できればいいなあとは思いますが、着手できずに日々過ぎていきます。物を多く買うこと、整理できないこと⇨悪いこと、という漠然とした感覚がありますが、私はほんとうに整理が下手で、物を中々捨てることのできないのが現状です。妻からも新しいものを買うときは、その分ちゃんと捨ててね。特に、本と服！！とよく言われております。

しかあ～し、わが地域はモノづくりの地域でもあります。新しいものを創意工夫で作る、それを様々な手段で情報を得て、厳選しながら買う！ということは、自身の満足感を得る手段として正当であり、地域経済の活性化に貢献している。という密かで勝手な持論があります。工場の祭典での体験を踏まえ、秋の夜長に地場の包丁や食材で肴を作り酒器を片手に楽しみながら、改めて持論に変な確信を得たところですよ。秋って深いですねえ。



【又エック参加報告】

西方久子

埼玉嵐山の国立女性教育会館で開催された「男女共同参画推進フォーラム」に参加した。8月27日(土)午前6時、参加者9名と市担当職員を乗せて、マイクロバスは雨の中を出発。昨年より静かなバスの中、三条女性会議の元気な声(誰?)がないから…？

午前のワークショップは、(社)日本ベビーダンス協会「パパと子どものベビーダンス(子育てを切り口にした男女共同参画推進)」のテーマにひかれ参加した。

生命誕生・子育ての仕事をしている私は、子育てに悩むパパ達のアドバイスになればと思い、ドキドキしながらダンスに挑戦。でも、優しいワルツのダンスと和気あいあいの楽しい2時間でした。(講師たちのジャズダンスのビデオは、凄い！カッコいい！)これならパパも自然に赤ちゃんと遊び、子育てに自信が持てる(パパの味方)、親子と家族の絆が深まると確信！！(イベントでやりたいなあ～！)

午後のシンポジウムは、「男もつらいよ！～男性の働き方改革とワークライフバランス再考～」興味あるテーマで、満席の大盛況であった。コーディネーターの宮本みち子さん(千葉大学名誉教授)は、家族社会学の立場から、まとめとして「少子高齢化・人口減少社会は女性の活躍の時代」と、女性には嬉しい言葉で私もパワーをもらった。(65歳、まだ頑張れる！)

パネリストの田中俊之さん(武蔵大学社会学部助教)は、男性学(=男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤を対象にした学問)の視点から、男性問題について、地域社会・企業・家族・父親など、男性の辛い立場を話され、夫や息子、いや世の男性達のためにも男性学を学びたいと思った。

充実した一日であったが、一日中雨降りだったことと、研修に参加した方々との交流(自己紹介など)がなかったことが、とても残念でした。

男女共同参画推進フォーラムに参加して 「これからどんな社会をつくるのか」

米田美智子

私は、シンポジウム「男もつらいよ」とワークショップ「女性議員、どうすれば増えるのか？」に参加した。帰途のバスの中、うとうとしながら思った。世の中ってこうも速く変化するのか…と。

私は、十歳まで太平洋戦争の最中で育った。テレビともラジオとも縁がなく、日々くらしの中で耳にすることは「一億一心・火の玉」「鬼畜米英」のスローガン、「勝ってくるぞと勇ましく、誓って国を出たからにゃ、手柄たてずに死なれよか…」などの軍歌だった。だれが考えたのか分からないが、全てお国が発した「お国のため」のことばであった。親たちは選挙など一回もしたことがなく、まして女性議員の存在など、想像しようもなかった時代だ。

私は、平成7年から18年まで市議会議員を11年間勤めたが、1年目は「野次」、「ヤジ」のターゲットだった。「市民参画」ということばが、お気に召さなかったらしい。一人会派で女性、教員あがりとなれば、かまってみたくなるのも自然だと思う。でも今は、年一回の市議仲間の集いがとても楽しい。当時の市議は、地域・組織の熱意、支援あってこそその市議だった。今でも地域との縁がなによりとの状況はあまり変わっていないと思う。

私は、ワークショップで発言した。「どうすれば…の前に、なぜ女性議員を増やさねばならないのか、考えてみるべき」と。しかし、あまり相手にされなかった。増やすのが当然という雰囲気であった。男性議員に比べ、日本の女性議員は圧倒的に少ない。社会を仕切っているのは、まだまだ男性が圧倒的に多い。でも社会を形成しているのは女性も若者も同じ成員だ。

今は、民主主義、市民参画、多様性の時代だ。多様な価値観を未来に向けてどう調整するかが政治家の役割だ。それが中高年男性に偏っていれば、またまた満州事変・太平洋戦争への道をつっぱしりかねない。人間は、感情の動物だもの、もう二度と勇ましい歌は唄いたくない。

だからこそ、政治が、議会が、健全に機能することを願っている。いや、させるべきだ。そのために、女性議員を増やしていかなければならない。

【お知らせ】

わくわく食堂 一緒に食べよう！

地域たすけあいネットワーク「コミュニティカフェ・ふらっと」では、9月からわくわく食堂をオープン。みんなで作って、手伝って、一緒にランチを食べましょう。こどもだけでなく保護者の方と一緒に、大人の方お一人でも、どなたでもご参加いただけます。

★日 時：第1、第3日曜日

午前11時～午後2時

★料 金：子ども100円(高校生まで)

大人300円

※就学前のお子さんは無料

★場 所：コミュニティカフェ・ふらっと

(地域たすけあいネットワーク
かじまちの家内)

★申 込：地域たすけあいネットワーク

電話 0256-34-2448

当日参加もOK

人形芝居 あなたがうまれるまで

おなかの中の子どもの成長は、とても不思議。命のエネルギーに満ちています。生命の不思議と命の大切さをコミカルなファンタジックな人形芝居にしました。

★日 時：10月30日(日)

10:45～12:00

(開場 10:30～)

★会 場：子育て拠点施設

あそぼってアリーナ

(三条市興野 1-2-30)

★定 員：200人

★入場料：大人1,000円

小人500円(3歳以上)

★チケット取扱場所

・三条市中央公民館

・すまいるランド ・あそぼって

・三条市市民活動支援センター

★主 催：NPO法人三条おやこ劇場

アルザフォーラム2016

日時：2016年11月12日(土)～20日(日)

テーマ：新潟発 やわらかい生き方でステップアップ

●●●基調講演●●●

★日時：11月13日(日)13:30～15:30

★テーマ：自分をすり減らさない「ほどほど」の生き方

★会場：万代市民会館6階 多目的ホール

★講師：深澤 真紀さん(コラムニスト・淑徳大学客員教授
・とくダネ!コメンテーター)

★定員：280人

★保育：15人(6ヶ月以上未就学児 応募多数抽選・無料)

★申込：10月9日～11月1日市役所コールセンター

電話 025-243-4894(8:00～21:00 土・日・祝日も受付)

分科会1(講演会)

★日時：11月19日(土)
10:00～12:00

★テーマ：なみだをこえて
～リベンジボルノ被害者支援～

★会場：万代市民会館4階
403・404 大研修室

★講師：中野 宏美さん
(NPO法人しあわせなみだ代表)

★定員：50人
(応募多数の場合抽選)

分科会2(ワード・カフェ)

★日時：11月19日(土)
13:15～15:45

★テーマ：私は一体、どこにいるの?
～性自認、性的指向、LGBT～

★会場：万代市民会館4階
403・404 大研修室

★講師：高橋 佳生さん
(新潟LGBT Love1 peace代表)

★ファシリテーター：虎岩 朋加さん
(敬和学園大学教授)

★対象：学生50人

※どちらも参加費無料・保育有り

★申込：10月9日～11月8日市役所コールセンター

電話 025-243-4894(8:00～21:00 土・日・祝日も受付)

※その他ワークショップ多数あり。詳細は、HPをご覧ください。

◆次回(11月)の三条女性会議運営委員会は、11月2日(水)9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいでください!

編集後記：

お月さまの光と虫の音色に秋の夜長を楽しみたいところですが、柿もぎをしたせいでしょいかあちこちに痛みが走ります。減量に失敗して臨んだ柿もぎでしたが、大木は今年もちゃんと支えてくれました。実りの秋に感謝です。鮮度一番片手に秋の夜長を、どうぞお楽しみください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三上市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>

